

## 2018年度 第3回 一般社団法人日本地球化学会理事会 議事録

日時:2019年5月26日(日)18:00-20:00

場所:幕張メッセ国際会議場 202室

出席者:益田 晴恵、坂本 尚義、原田 尚美、板井 啓明、伊藤 正一、太田 充恒、小畑 元、  
蒲生 俊敬(監事)、川口 慎介、癸生川 陽子、小木曾 哲、高野 淑識、高橋 嘉夫、  
橘 省吾、角皆 潤、中川 書子、服部 祥平、福士 圭介、丸岡 照幸、南 雅代、  
三村 耕一

欠席者:上野雄一郎、下田 玄、横山 哲也

オブザーバ:鍵 裕之(GJ編集長)

### ・議事概要

定足数 12 名を超える 20 名の理事および 1 名の監事の出席を得て理事会が成立したことを確認した。

### 1. 審議事項

#### 1.1 学会各賞受賞候補について(資料1)

資料1にしたがい、本年度の学会賞各賞候補者選考過程について、板井庶務幹事より説明があった。本年度は、柴田賞 1 名、学会賞 2 名、奨励賞 3 名、功労賞 1 名の推薦・自薦があり、委員会での審議の結果、学会賞 1 名、奨励賞 2 名、功労賞 1 名が受賞候補者となった。各候補者について坂本選考委員長より推薦理由が説明され、承認された。

#### 1.2 鳥居・井上基金採択候補について(資料2)

資料2にしたがい、2018年度第1回(1/31〆切)の鳥居・井上基金の応募および審査結果について、板井庶務幹事より説明があった。計1件の申請があり、内容は「IODP Exp. 376 の Post-cruise meeting への支援」であった。審査委員会からは、「若手への支援(例えば、若手の旅費支援)に利用されることを期待する、会議終了後にどのように使われたかの報告を求める」ことを条件に採択とする提案があった。益田会長による補足説明ののち、とくに反対意見はなく、本件は承認された。

#### 1.3 GJ 科研費の採択報告と今後の運営方針について(資料3)

資料3にしたがい、鍵 GJ 編集長から説明があった。GJ 出版に関する科研費申請が採択され、向こう5年間の雑誌運営に充てられることが説明され、この状況を受けて下記が提案された。

- ・当面ページチャージは導入しない。
- ・オープンアクセス経費 15 万円のうち、半額は科研費で補助する。
- ・原則として英文校閲は著者負担とするが、依頼原稿など学会として負担すべき場合は科研費から支出する。

議論の結果、上記提案について特段の反対意見はなく、承認された。

上記とは別に、将来的に冊子体を継続するかについて、川口理事より問題提起があり、議論がなされた。

#### 1.4 雑誌の保管について(資料 4)

資料 4 にしたがい、板井庶務幹事より、テラ学術出版との今後の契約について、①地球化学バックナンバーの保管ルール、②協賛金額変更、に関する先方の希望が説明された。①については、「10 部以上の在庫は学会に返却する代わりに、従来支払っていた年額 30,000 円の保管料支払いを求めない」とする先方の提案を受け入れることが承認された。②については、南会計幹事より詳細の説明があり、協賛金の減額を認めるのは他団体との兼ね合いからも問題があるので、賛助会員としての加入を提案する方針が示された。

#### 1.5 選挙後の理事交代の流れについて(資料 5)

資料 5 にしたがい、板井庶務幹事より、総会前後における役員交代の詳細なスケジュール案が提示された。議論の結果、①理事の任期は社員総会終了までとすること、②社員総会の閉会后、ただちに一社法第九十四条第二項にしたがい理事会を招集し、代表理事を選出すること、③新理事への引継ぎは、年会前日に開催される理事会で実施すること、が承認された。

#### 1.6 学生パック会員および終身会員の資格について(資料 6)

資料 6 にしたがい、中川会計幹事より、学生パックの資格に関する明文化案が提示された。本件に関する問題は、学生パックの 2 年間に経過した後の自動継続ルールについて、認識が共有されていない点にある。議論では、パック期間の終了に先立ちその旨を該当会員にリマインドすることなどが提案され、ルールについては中川幹事の提案が承認された。

#### 1.7 JPGU における広報ブースの今後のあり方について(資料 7)

資料 7 にしたがい、三村広報幹事より説明があり、JPGU における広報ブースの現状確認と、今後の継続意義に関する議論がなされた。2017 年以降のブース位置変更からは、学会宣伝の場としての有効性は低下していること、会期中のブース担当者の手配は負担が大きいことなどが確認された。議論の結果、来年度以降はブース出展を取りやめることを念頭に、審議を継続することとなった。

#### 1.8 その他

益田会長より、倫理綱領策定に関するワーキンググループの結成案が提示された。

## 2. 報告事項

### 2.1. 庶務 (資料 8)

### 2.2. 総務

橘総務幹事より、web システムによる投票の試験システムの公表と試験経過について説明があった。

### 2.3. GJ (資料 9)

### 2.4. 和文誌「地球化学」(資料 10)

### 2.5. 企画(資料 11)

### 2.6. 広報(資料 12)

- 2.7. 国際(資料 13)
- 2.8. 会計(資料 14)
- 2.9. 会員(資料 6)

以上の議事を終え、20 時 00 分に閉会した。